

2013年8月9日

各 位

積水ハウス株式会社
代表取締役社長：阿部 俊則
本社：大阪市北区大淀中1-1-88

新たな多世帯の住まい方提案手法「カゾク・ト・カゾク」 オリジナルiPadアプリや実例集を活用し 暮らしのシーンや家族の距離感から理想の住まい方を提案

積水ハウス株式会社は、多世帯同居を検討されるお客様に対し、このたび新たなライフスタイル提案として、多世帯の住まいを暮らしのシーンから共有・分離を導き出す提案手法「カゾク・ト・カゾク(※1)」を開発しました。これは、お客様が理想とする暮らしのシーンと空間の共有度合いに応じ、すべての家族に最適な多世帯の暮らしを提案するものです。多世帯の実例を参考にしながら暮らしのイメージを膨らませ、オリジナルiPadアプリを活用して理想とする生活シーンや家族の距離感を整理して、一人ひとりに合った住まい方を導き出します。

当社はこれまで、親世帯と独立した単身者が暮らす家「カーサ フィーリア」や、共有と分離をバランスよく使い分けた二世帯住宅「シェア ウィズ」など、時代に応じた多世帯同居の住まい方を提案してきました。近年、高齢化や少子化、晩婚化などにより、家族形態は大きく変化し、親と子のみの世帯である核家族は、1985年の46.3%から2010年には36.6%(※2)へ減少した一方で、自然災害などを契機に家族の絆が見直されたことや、家族と共に暮らす安心感や経済的なメリットから、親世帯、子世帯だけでなく、親族と多世帯で同居するなど、家族形態は多様化してきました。

そのような時代背景から、従来は空間・設備の数、共有型か分離型かという情報からプランを作り上げていましたが、より多様な家族像や住まい方にマッチした提案をしていくため、この度新たな多世帯の住まいづくり提案手法「カゾク・ト・カゾク」を開発しました。

「カゾク・ト・カゾク」は、当社でご建築いただいた213万戸を超えるお客様の声をはじめ、長年にわたる研究を基に、空間や設備を共有・分離するという視点ではなく、お客様が理想とする暮らしのシーンや家族の距離感を引き出し、多世帯ならではの設計の工夫を取り入れる新たな暮らしの提案手法です。

●多世帯の暮らし「カゾク・ト・カゾク」のポイント

- (1) 家族のカタチは多種多様。実例集をもとにお客様のリアルな生活実感に迫る。
- (2) iPadを活用し「暮らしのシーン」毎の家族の距離感について、楽しくゲーム感覚で潜在ニーズを探る。
- (3) アイデアプラン集と、多世帯の設計アイデア「GOOD IDEA30」をヒントにした個別設計を実現。

当社は、お客様とともに楽しみながら、最適な多世帯の暮らしを導き出す「カゾク・ト・カゾク」の提案ツールを活用して、よりきめ細やかなコンサルティングを行い、新たな多世帯住宅市場を開拓し、多世帯住宅の受注拡大を図ります。



オリジナルiPadアプリ「iPlanning Note」

(※1) 「カゾク・ト・カゾク」は積水ハウスの商標です。

(※2) 1985年、2010年「国勢調査 人口等基本集計」
総務省統計局のデータより算出。

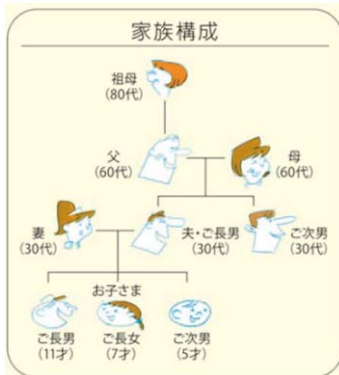
(1) 家族のカタチは多種多様。事例集をもとにお客様のリアルな生活実感に迫る。

現代の家族形態は、2世代、3世代同居といっても、古典的なスタイルだけでなく、単身世帯の増加、女性の社会進出、介護等の社会環境変化を踏まえて、女系同居、祖父祖母による育児同居、世帯主でもある息子や娘との親同居、きょうだい・親族同居など多種多様なカタチになっています。同時に、プライバシーも大事にしながら、家族のつながりやコミュニケーションを重視する「重なり」も考えた生活スタイルが求められています。

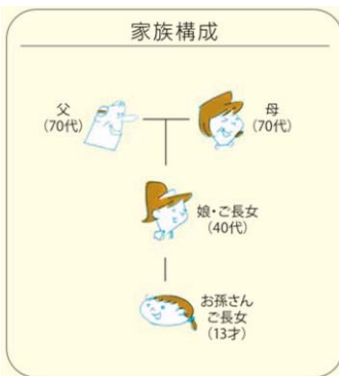
これから多世帯同居の住まいづくりを始めるお客様に、当社で建築していただいた様々な家族構成のオーナー様の事例から、自分に合った暮らし方をイメージしていただきます。

〈ライフスタイルブック「カゾク・ト・カゾク」に掲載事例の家族構成事例〉

●祖母、親世帯、子世帯、子世帯の兄弟が同居



●娘が世帯主で親世帯と同居



家族構成に加え、「同居のきっかけ」や「暮らし方」を知ることで、新しい暮らしの発見につながる。

(2) iPadを活用し「暮らしのシーン」毎の家族の距離感について、楽しくゲーム感覚で潜在ニーズを探る。

「カゾク・ト・カゾク」では、多世帯同居を検討されているお客様向けのオリジナルiPadアプリを開発し、新たなコミュニケーション手法を導入します。このツールによって、お客様が楽しみながら多世帯の住まいづくりを進めていただけます。家族構成、理想とする生活シーン、家族の距離感を独自の指標「重なり度」で把握することで、それぞれの家庭にマッチする暮らし方を導き出します。家族のさまざまなニーズや生活スタイルをさりげなく引き出し、お客様とのコミュニケーションを深めます。



①まずは家族構成を整理するためキャラクターを選択します。



②暮らしのシーン、空間の共有・分離を「いつも」「ときどき」「思い思い」に整理



③お客様に合った家族の距離感「重なり度」を表示

(3) アイデアプラン集と、多世帯の設計アイデア「GOOD IDEA30」をヒントにした個別設計を実現。

家族の重なりイメージ「重なり度」別に多世帯の暮らしのプランや空間づくりをスムーズにするプランアイデアをまとめた「アイデアプラン集」と、豊富な建築実績より蓄積された多世帯同居の設計アイデア「GOOD IDEA 30」を活用し、多世帯同居の様々な問題を解決します。

〈アイデアプラン集〉

● 「重なり度20%」のプラン例



● 「重なり度60%」のプラン例

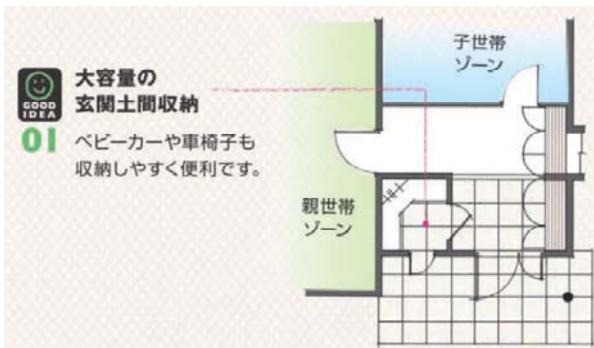


〈設計アイデア「GOOD IDEA30」〉

ライフスタイルブック「カゾク・ト・カゾク」には、多世帯住宅設計のヒント「GOOD IDEA30」を掲載。当社の豊富な実例から抽出した、あらゆる多世帯家族に対応できるアイデア集なので、自分に合った同居スタイルの個別設計に役立ちます。

GOOD IDEA30の一例

● 「いつも一緒」同居スタイルのアイデア例



● 「ときどき一緒」同居スタイルのアイデア例

GOOD IDEA 07 吹き抜けリビング

生活ゾーンを上下で分けても、吹き抜けを介し、自然な距離感で家族の気配を感じることができます。



● 「思い思いに」同居スタイルのアイデア例

GOOD IDEA 02 コネクティングドア

両側から施錠できるドア。万のときに活躍します。



GOOD IDEA 16 子世帯シャワーブース

浴室共有のスタイルでも、専用のシャワーブースがあると、さまざまな時間帯の入浴に対応できます。

